



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会  
2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

9月号会報

2012年(平成24年) 9月 1日(土)

NO. 133

## 教育企画部が担当に

倫理研究所 国際部長  
新原隆一

南カリフォルニア倫理の会の皆さん、おはようございます。七月の最後の出張では大変お世話になりました、ありがとうございます。その後もお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

倫理研究所二〇一二年度も、いよいよ八月で終了いたします。川田会長を中心に役員の皆様のご尽力と、会員の皆様のご協力により、今年度の普及活動もつつがなく終わることが出来ることを心より感謝申し上げます。

さて、九月から二〇一三年度に入りますが、倫理研究所の体制も大きく変わることになります。これまで海外の組織は国際部で担当してまいりましたが、来年度から国内の「家庭倫理の会」を統轄している生涯局の教育企画部が担当することになりました。国際部が出来る十五年前も生涯局が海外普及を担当してまいりましたので、以前の状態に戻ることになりました。従って、諸般の事情により国際部は今年度で無くなります。

南カリフォルニア倫理の会をはじめ、ハワイ倫理の会、ブラジル倫理の会の担当と、台湾の中華民国倫理研究学会の支援は、教育企画部が窓口となつて推進してまいりますので、これからもよろしくお願ひいたします。

生涯局の責任者は、常任理事の徳江秀雄(とくえいひでお)局長になります。徳江生涯局長の下で、海外普及の中心となるのが教育企画部の和田毅(わたいたけし)部長です。これまでの十年間は、国際部の私が皆さんの窓口となつて取り組んでまいりましたが、九月からは和田部長にしっかりと繋がつて、指導を仰ぎながら南カリフォルニア倫理の会の発展を期していただきたいと願っています。

和田毅部長は神奈川県小田原市の出身で、両親が大変熱心な会員でした。父親の今は亡き和田国雄氏は、地元西湘支所の支所長を長年勤められ、その実績が認められて後継に生涯局の派遣講師として全国会員の指導に奔走されました。母親も支所の婦人部長などを勤められ、一家をあげて倫理運動に活躍されました。

そのような両親の元で、和田部長も青年時代から倫理運動に参画し、青年部長として活躍していました。

大学を卒業後、倫理法人会員の企業に勤務して将来を嘱望されていましたが、父親の勧めや本人の希望がかなつて、倫理研究所に入所となりました。当時、東部管区長を拝命していた私は、和田家に伺い倫理研究所への入所を勧めた思い出があります。そのような経緯から、和田部長が私の後を受けて南カリフォルニア倫理の会の担当をしてもらえるのは、感慨深いものがあります。皆さん、私同様どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、九月から「参与」という立場で、主に日本国内の倫理法人会の指導に当たることになりました。月に二十日、全国各地の倫理法人会に出張いたします。定年を迎えても、まだ働ける仕事があることに感謝しています。定年ボケにならないためにも有難いことです。これが最後の原稿になります。これが最後の原稿『おはようロスアンゼルス』によって皆さんのご活躍

を見守りたいと思つています。誠に、誠にありがとうございます。八月十一日、ブラジルにて記

## 新原隆一先生 十年間

ありがとうございます

二〇〇二年十月号、会報がまだ十四号の時に「お会いできる日を楽しみにしています」と言われたロスご出張から十年が経ちました。会報が百二十三号となり先生は、「誠に、誠にありがとうございます」と締めくくられました。

十年間、色々な事がありました。優しく包容力のある女性講師の派遣、文化部の四人の先生方、文化講演会は十人の講師の方々に思い出が残ります。悩みを抱えて生活相談を受けたことも忝く懐かしく思われます。

全て新原隆一国際部長の、南カリフォルニア倫理の会に対する温かい愛情の発露でした。

新原隆一先生、心から御礼申し上げます。どうぞこれからもよろしく御願ひ申し上げます。ありがとうございます。

## 『職場の教養』八月号より

―休日日のミシン修理―

ブラジル サンパウロの郊外に住むM氏は、業務用ミシンの販売と修理業を営んでいます。数年前より知人に勧められて、毎週日曜日、ポルトガル語に翻訳された日本のテキストを用いた、企業経営のセミナーに参加しています。

そのセミナーで最初に心に響いたのは、「気がついたらすぐする」という即行の実践です。以来、そのことを心がけて仕事に取り組んできました。

ある日曜日のことです。セミナーから帰ると、数日前に縫製工場から修理のために持ち込まれたミシンが目にとまりました。いつもなら「今日は日曜日だから」と先送りにするところですが、その日はすぐに修理に取りかかりました。

修理は短時間で終わり、翌月曜日の早朝、始業前の縫製工場に納品したところ、先方からは非常によろこばれました。いつもは支払いの遅い工場でしたが、その日は即金で払ってくれ

M氏は即行の効用を体感したのです。

怠け心や心配性を捨てて、気づいたらすぐする実践は、相手に喜ばれ、自分にも幸運な結果を結びつけてくれるのです。今日の心がけ

気づいたらすぐ行動に移しましょう

※『職場の教養』は記者の名前は入りませんが、ブラジルといえば新原隆一先生の記事ですね。倫理は実践が伴って初めて倫理です。

卒寿おめでとうございます

橋本学さんは当倫理の会の最高齢メンバーで九十歳になりました。八月五日（日）のモーニングミクスサーで、9と0の蠟燭をケーキに立てて、お祝いをしました。お元気で庭仕事をされるので、



帽子を会から贈りました。メイ夫人と共にこれからも益々ご活躍下さい。

## 実践報告

三班 大竹信雄

今年も北カリフォルニアの森の中で全米の玄米菜食者グループのキャンプ大会に九日間参加しました。その中のセミナーで私は二十人の中高年の参加者にストレッチと筋力作り体操の指導をしました。とくに倫理で実践している「明るく、朗らか」を強調しました。

つねひごろ、私たちの道場でまじめにやっている韓国のテコンドーは若い人たちが多く、勝ち負けとか怪我という要素が入っているのが気には出来ません。しかし病気をしないための、人生の後半を楽しむ生きるための体操をするのに、ニコニコしながらやっつてはいけないという（きまり）もあります。

短期間とはいえ毎日英語ばかりの世界に入っていると、日本語感覚から眺めて、アメリカ英語はすごくハッピーで気楽な言語であることを痛感しました。

さらに日本語アクセントの英語で体操指導をするとまじめす

ぎてしまったって効果が上がらないのではという不安もありました。

よって今夏は（ニコニコしながら）を心がけました。初心者にはチョツとやりにくい股関節のストレッチや腕立て伏せの説明でもほほえみながら実演したり、ぎこちなく動かしている人にはやわらかい表現で（無理をしないでチョツと曲げるだけでいいんですよ）とか、ふんわりと伝えました。

おかげさまで終了のときは参加者と握手だけではなく、多くの人たちがハグの挨拶もしてくれました。あるエネルギーギッシュな白人女性は心臓のある左胸と左胸を近づけるハグの仕方を教えていただきました。

倫理で勉強している「明朗」とか「微笑」の効果は世界中で通用する【知恵】であることができました。



野中寛治先生ご出張

九月二十一日（金）〜二十四日（月）です。二十三日（日）は二〇一三年度の辞令交付です。新役員は服装を整えて参加して下さい。.....

おめでとうございます

『しきなみ』八月号

- 入選 松永典子 群螢集（東京）
入選 門園美枝子 群螢集（東京）
二席 草野律子 真砂集（西東京・海外）
キツチンの戸棚を今日は整理しよう春の陽の差す日曜の朝
入選 摺木洋子 飛雲集（西東京・海外）

『秋津書道』八月号（競書）

- 入選 堀井幸江 高等部（東京）
入選 前田グレース 一般部 行書（東京東部）
入選 脇山由希 一般部 楷書（東京）
入選 トイフェル佳江 一般部 楷書（東京）
入選 大竹信雄 一般部 楷書（東京）
入選 竹内康子 一般部 楷書（東京）

『短歌のできた境地』(64)

夫と娘が軒奏でて調和する

家族はいつも吾の傍にいる

摺木洋子

末娘さんの大学卒業式と引越しの為、家族で

トラックと乗用車を八時間運転し、日本から駆けつけて下さったご友人と共にサンタ・クルーズまで辿り着いた夜のことです。興奮して寝付けずにいる洋子さんの傍らから、ご主人の軒と娘さんの深い寝息が聞こえてきます。それはまるで楽器を奏でているように調和していました。末娘さんの卒業を機に、長い車の旅もホテルの一室で家族と過ごす夜も最後です。感慨に耽りながらも、家族のある有難さで気持ちちは安らぎ、この後ぐつぐつと眠られたようです。今年に入り、「夫の短歌を百首詠む」という実践を続けられている摺木さん。ご主人を詠む毎に多くの気付きがあり、感謝に満たされつつ過ごされていますが、まだまだ沢山の幸せが見つかりそうです。

しきなみ短歌

カウンターですしとコーラをたのむ人に
驚いた日は遠くなりたり
毎日の部屋の变化を眺めつつ素材吟味に
迷える妻は
少食の孫近頃は人並みに食欲旺盛と嫁が喜ぶ
上枝に色ずき初める枇杷あまた瞬時に一羽鳥の飛び立つ
傾ける日に照り映えて立つ大樹葉裏の陰の黒々として

ホン史子

彩かなる色を求めて花を植うリハビリのみが夫の日々ゆえ
息子の入学家族で祝いしレストランに卒業の今日また舌鼓打つ
五年ぶりクジャクサボテン蕾つく皐月の空に花さくらしい
亡き妹は余命わずかな日々の中か思いはいつも子らの平安
整列し同じ方むきぎつしりと船のくさりに留まるカモメ
家族よりちちの気にするは犬へチマ「頼む」とハガキアフリカより来
五分程にわか雨ありその後雲間明かるく若葉鮮やか
あまた咲くさ庭一面朝顔のうす紫はあざやかなりし
手折られたんぽぽの白き綿毛たち孫のくしゃみに一気にとび散る
百合開き花粉の着かぬその時に雄蕊の先をそつと抜き取る
赤ピーマンは赤は赤でもそれぞれに色の違い客を待ちおり
春の陽は心やすまる平穩のありがたきこと今わかりたり
年老いてぼつりぼつりと友去りぬ今日も佳き日とがんばるわたし
腕時計の時刻調整重ねつつ時差にとまどい異国を旅す
すれ違う列車を待つ間の単線の窓に音なく春雨流る

松永典子
草野律子
摺木洋子
山内洋一
松元依子
大川敏子
滝川歌子
奥本洋子
杉野和子
長谷川松子
塩出笑子
吉成光一
橘高比呂美
伊勢田豊
中村正生